

令和7年賀詞交歓会

広報副委員長
㈱三晃空調 東北支店
支店長 戸村正美



令和7年1月16日、江陽グランドホテルに於いて賀詞交歓会が開催されました。式次第は次の通りです。

次 第

一. 開 会

一. 会長挨拶

一般社団法人 東北空調衛生工事業協会
会 長 江 連 康 明

一. 来賓挨拶

国土交通省東北地方整備局
宮繕部設備技術対策官 齊 藤 隆 一 様

一般社団法人 宮城県設備設計事務所協会
会 長 佐 々 木 亨 様

一. 乾 杯

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 東北支部
支 部 長 小 林 照 和 様

一. 祝 宴

一. 中 締 め

賛助会員会
代 表 幹 事 三 田 貴 久 様

一. お 開 き



江連会長

江連会長より『今日は当協会の賀詞交歓会にたくさんの方々にご出席いただき誠に有難うございます。又、ご来賓として国土交通省東北地方整備局営繕部設備技術対策官の斉藤様をはじめ、大勢のご来賓の出席を賜り誠にありがとうございます。当協会の運営にあたり皆様のご協力に心から感謝申し上げます。空調衛生工事業協会では繁忙度が高い状況が継続する中、昨年4月から時間外労働上限規制が適用され従事する人材不足も重なりまして、会員企業の皆様は準備されたと思いますが、人材の確保に苦慮されたのではないのでしょうか。また、資材の高騰、労務費の上昇もあり建設コストを引き上げざるをえない状況になっており、環境が著しく変化した1年であったかと思われます。昨年末には国の防災対策として避難所となる学校の体育館等に空調整備を、行うペースを2倍にするという方針が出ており、今年は更に繁忙度が増し、人材確保が厳しい状況が予想されます。業界としましては国民の安心と安全を守るためにも期待に応えていく必要があります。建物用途に要求される快適な空間を創出し、安心して清潔な生活環境を提供するという魅力のある業界であることを普及させ、担い手確保につながる活動を行っていきたいと思いますので、ご協力の程宜しくお願いいたします。

最後に本年も当業界の発展のために会員の皆様と一丸になって活動をしてまいります。会員各位の積極的なご参加とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。会員皆様のご健勝とご多幸を祈念致しまして挨拶とかえさせていただきます。』との新年の挨拶がありました。



国土交通省東北地方整備局営繕部設備技術対策官 斉藤 隆一様

次に来賓として出席していただいた国土交通省東北地方整備局営繕部の斉藤設備技術対策官より『ご出席の皆様には日頃より、国土交通省の官庁営繕行政に格別のご理解を賜りこの場をかりて御礼申し上げます。又、昨年は各種意見交換会、東北ブロック会議等で大変お世話になりました。今年度も引き続きよろしくお願ひ致します。昨年1年を振り返りますと元日に能登半島地震、夏においては同じ能登半島での豪雨災害、東北においても秋田、山形、岩手で豪雨災害が起き、災害が多い1年になってしまいました。今年も新年におきましては

青森県方面で豪雪災害が発生しております。又、3連休最終日の13日に宮崎県の日向灘沖を震源とする地震が発生しており、自然災害の激甚化が頻発しています。国土交通省としても大規模等自然災害に対する防災、減災の対策に取り組んでいるところです。昨今の業界を取り巻く環境情勢としては、働き方改革・生産性の向上・環境問題・環境対策など乗り越えるべき課題が多々ある状況だと思えます。これらの課題の対応として東北地方整備局としては、働き方改革については労務費及び建設資材の高騰を踏まえた対応として資材価格に対する最新の取引価格を反映した単価の設定、積極的な見積の活用、物価変動に伴うスライド条項の適切な適用など、適正な予定価格の設定に取り組むしだいです。又、月単位での週休二日の確保、猛暑日による作業不能日数、概成工期を踏まえた適切な工期の設定に努めるとともに、ウィークリースタンスの徹底とワンデーレスポンスの実施等の取り組みを引き続き行って参りたいと思えます。営繕工事における働き方改革についても今述べたようなことを踏まえてさらに推進を行っていきたくと思っております。又、生産性の向上についてはBIMの積極的な活用により、現場での施工計画検討の効率化、整合性の確認、干渉チェックの効率化など少しでも現場の負担軽減につながるものと期待したいと思えます。最後に環境対策についてはカーボンニュートラルに向けて更なる取り組みと適切な事業執行を進めていきたくと思っておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。

国民の皆様が安全安心で快適な生活を過ごす為にも、皆様方の存在と高い技術力があってのことと考えております。その為にも、東北空調衛生工事業協会の担い手確保などの取り組みについて引き続き官民双方が連携して働き方改革や処遇改善の課題解決に取り組んでいきたくと考えております。

結びに東北空調衛生工事業協会並びに会員企業の皆様の益々のご発展と、本日ご列席の皆様のご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。』とのご挨拶を頂きました。



宮城県設備設計事務所協会会長 佐々木 亨様

次に来賓として出席していただいた一般社団法人宮城県設備設計事務所協会の佐々木会長より『当協会の活動に対して皆様方のご協力とご理解を示していただきまして誠にありがとうございます。建築設備業界は今様々な課題に直面しております。近々の課題としまし

ては建築物における省エネ法の改正の運用が今年の4月から本格的に始まり、すべての建築物において省エネ計算が必要となります。また、ZEB化がかなり進んできており、公共事業においては殆ど Nearly ZEB・ZEB Ready が求められています。ただし改修工事においてはまだまだ課題、難題が多く、工事費も高くなるという問題はありますが、現場においては進んで取り組む姿勢が見受けられます。我々設計業界としても ZEB 化に向けて、脱炭素社会、カーボンニュートラルに向けて進んでいるところです。また、BIM 化・デジタルトランスフォーメーションに関して民間工事においてはかなり進んできていると思いますが、生成 AI も含めまだまだ課題が多いようです。昨年の暮れに国土交通省より基本的な運用に向けたガイドラインは出てきておりますが、民間工事に比べると公共事業の方が遅れている感じがしています。又、担い手不足について当協会として昨年から本格的に取り組んでおりますが、建築設備業界を一般に周知してもらう為に建築設備士の事務所登録制度を上位機関、国土交通省も含めて協議しているところです。建築設備士という資格制度を加えることにより、建築設備という業界がもっと広く周知される啓蒙活動の一環となり、少しでも担い手が増えてくる希望を持って活動しています。

最後になりますが、ここにお集まりの皆様方のますますのご隆盛とご繁栄を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。』とのご挨拶を頂きました。

次に、司会者の総務委員会菊地委員より、ご来賓紹介がありました。

(官側来賓)

国土交通省東北地方整備局	営繕部設備技術対策官	斉藤	隆一	様
	営繕部整備課長補佐	加藤	政昭	様
仙台市都市整備局公共建築住宅部	設備課長	芳賀	和則	様

(民側来賓)

(一社)宮城県建築士設計事務所協会	副会長	加藤	良一	様
(一社)宮城県設備設計事務所協会	会長	佐々木	亨	様
(公社)空気調和衛生工学会	東北支部副支部長	田原	誠	様
(一社)建築設備技術者協会	東北支部支部長	赤井	仁志	様
(一社)日本空調衛生工事業協会	東北支部支部長	小林	照和	様
宮城県管工業協同組合	理事長	井上	環	様
東北ダクト工業会	会長	二階堂	成門	様
東北配管工事業協同組合	理事長	菅原	嘉祐	様
(一社)日本電設工業協会	東北支部事務局長	佐島	千秋	様
(一社)宮城県空調衛生工事業協会	専務理事	壹岐	孝志	様
(一社)岩手県空調衛生工事業協会	会長	菅原	浩幸	様

この後、日本空調衛生工事業協会東北支部の小林支部長より、日空衛では昨年10月に10年ぶりに新たな中期ビジョン「日空衛2025」が発表されたとの報告がされ、乾杯の音頭と続きさらなる隆盛を誓い合いました。



日空衛・小林支部長



会場風景

最後に賛助会員会の三田代表幹事による中締めの後、散会となりました。



会場風景



賛助会員会・代表幹事 三田様

